

平成31年度福岡市NPO活動推進補助金事業

日本のこどもグローバル化育成プログラム



APCC

NPO法人 アジア太平洋こども会議・イン福岡

アジア太平洋子ども会議・イン福岡（APCC）とは？

【英語名】

The **A**sian-**P**acific **C**hildren's **C**onvention in FUKUOKA



子ども国際交流事業

アジア太平洋こども会議・イン福岡（APCC）とは？

- ◆ 1989年「アジア太平洋博覧会（よかトピア）」の参加事業としてスタート
- ◆ アジア太平洋30か国・地域以上から40以上の団を福岡に招聘し、
キャンプ・ホームステイ・学校登校を実施
- ◆ 海外参加者：11歳のこども大使、引率者、ピース大使 毎年約300名
－これまでに55ヶ国・地域から招聘し、その数は約1万名を突破
- ◆ これまでに約4000名の福岡のこども達らを海外に派遣する事業も実施
- ◆ 企画・運営に700人以上の一般ボランティアが関わる草の根国際交流事業



BRIDGE KIDS PROGRAMS

ビジョン

私たちAPCCメンバーは、
OMOIYARIの心をもった**地球市民**となり
こども達の笑顔あふれる世界を実現します。

スローガン

We are the
BRIDGE

つなげます。世界の夢を



事業総称

BRIDGE KIDS PROGRAMS

招聘型事業



オリエンテーション
プログラム

ホームステイ
プログラム

全体交流
プログラム

派遣型事業



春休み
8団程度

夏休み (隔年)
4団程度

補助事業に申請したきっかけや動機

グローバル人材の育成に必要なこと
＝異なる文化や習慣を肌で感じる**実体験**

①事前の研修や講座、事後の報告に力を入れる

②広報の拡充

③招聘型事業への参加にも繋げる

補助対象事業

派遣型事業

海外ホームステイプログラム
ブリッジ チャレンジトリップ
(2019夏・2020春)

- ブリッジ チャレンジトリップ2019夏
… 4か国・地域 60名
- ブリッジ チャレンジトリップ2020
… 8か国・地域 120名
- 対象 小学4年生～高校3年生

日本のこども育成事業

ウィングキッズプログラム記念事業

- 過去10年間参加者 265名
- 対象 小学6年生～大学3年生

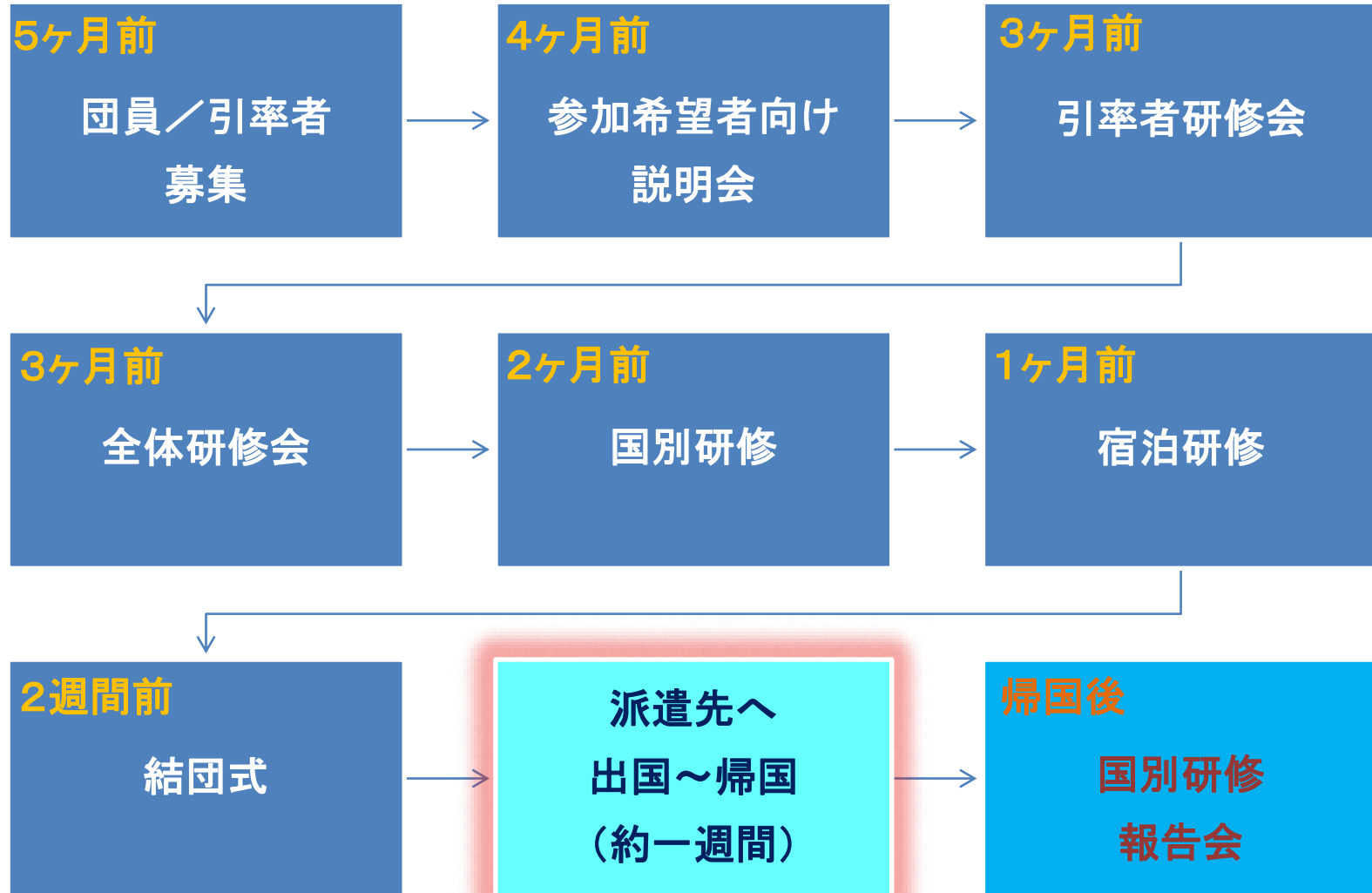
派遣型事業 海外ホームステイプログラム ブリッジ チャレンジトリップ

現地の学校訪問や、現地の子ども達との交流会など
異文化体験にチャレンジするプログラム

- 26年目の事業
- これまで40ヶ国・地域に
4000名以上を派遣
- 対象 小学4年生～高校3年生
- 準備（研修）期間 3ヶ月間
- 派遣期間 1週間程度
春休み：8ヶ国・地域程度
夏休み：4ヶ国・地域程度（隔年）



ブリッジ チャレンジトリップ 事業実施スケジュール



派遣型事業 海外ホームステイプログラム ブリッジ チャレンジトリップ

ブリッジ チャレンジトリップ2019夏

[事業期間] 2019年6月～2019年9月

[派遣期間] 2019年8月中旬～下旬

[派遣先] 香港・パプアニューギニア・モルディブ・ベトナム（ホーチミン）

[派遣人数] 団員：60名（1団15名）

正副団長：12名（1団3名）



派遣型事業 海外ホームステイプログラム ブリッジ チャレンジトリップ

ブリッジ チャレンジトリップ^o2020春

[事業期間] 2020年1月～2020年3月

[派遣予定先] 台湾・インドネシア・ブータン・オーストラリア・モルディブ
中国(広州)・マレーシア(イポー)・ペルー

[派遣予定人数] 団員：120名（1団15名）
正副団長：24名（1団3名）

新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け
参加者の安全を第一に考えた結果
2月14日開催の理事会にて事業開催中止を決定

派遣前研修の様子



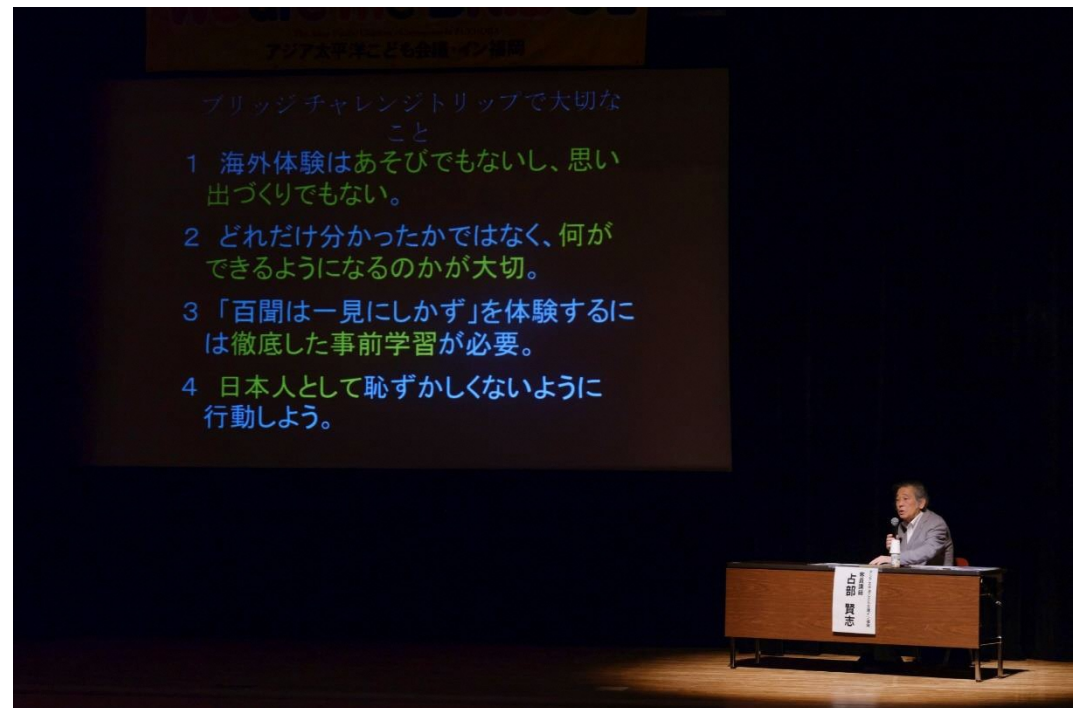
報告会の様子



新しい取り組み①

【APCC客員講師 占部賢志氏による講話】

- ・引率ボランティア向けに1回、団員向けに4回実施
- ・事前学習の大切さ、現地に行く前の心構え、チャレンジトリップの体験を今後どのように活かしていくか等をお話しいただく



新しい取り組み②

【事前及び現地での調べ学習】

『日本の紹介』

令和元年 7月 7日
 課題「日本紹介」レポート
 学校名(見丘中学校) 学年(2) (名前)

テーマ	日本や博多の食べ物(いちご)
調べた内容	※実際に説明するように書くこと。イラストやグラフなどを添えてもよい
内容	<p>☆いちごとは...</p> <p>バラ科の多年草。一見して種子に見える一粒一粒の種(そのか)が付いた花(かた)部分が食用として供される。</p> <p>農林水産省では、「果実的野菜」に分類され、スイカやメロンなどととも、野菜のグループに入っている。</p> <p>●『あまおう』について</p> <p>福岡県は、栃木県につぐ、全国で第2位のいちごの名産地。その福岡県で「いちご」の後継品種として生まれたのが、「あまおう」。</p> <p>福岡農業総合試験場で約6年間という長い年月、試行錯誤の末誕生した、いちごのサラブレッド。</p> <p>●『あまおう』の家族♡</p> <p>「甘いいちごの王様になるように」という意味が込められている。</p> <p>あまおう (2005年生まれ) — 92-46 (さちのか、久留米49号) — 込められている。 (2005年生まれ) — 久留米53号(さちのか、よとのか) —</p> <p>調べた本や資料 ※本の著者や書名、ホームページのタイトル、相談した人や図書館名など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親明解 国語辞典 (三省堂) ・福岡県農林水産物ブランド化推進協議会(ホームページ) ・どきどきギフト福岡県博多産 プレミアム あまおう(ホームページ) <p>調べ学習の感想 ※調べてどんなことに気づいたか、苦労したことなどを書くこと</p> <p>いちご一口にしても、全国にさまざまな品種がありそれぞれ産地でも大変苦労して、品種開発や栽培をしていることが分かりました。また、大好きなあまおうが、私と同じ年と知り、とても喜ばれました。</p>

『派遣国・地域について』

令和元年 6月29日
 課題「訪問国・地域の調査」レポート
 学校名(煙浜中学校) 学年(中1) (名前)

訪問国・地域	調査テーマ																		
ホーチミン 団	生活習慣など																		
調べた内容	※実際に説明するように書くこと。イラストやグラフなどを添えてもよい																		
内容	<p>ベトナムの生活習慣</p> <p>小学生の1日</p> <p>帰宅後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、ゲームなど ・夕食 ・宿題と予習復習 ・家庭教師など <p>校内の売店や屋台で保護者といっしょに食べることもある。</p> <p>朝食・登校</p> <p>朝食 → 6時~6時半</p> <p>登校 → 7時</p> <p>登下校は、バイクの送迎が多い。渋滞や交通安全のため。</p> <p>学校</p> <p>起床</p> <p>就寝</p> <p>休み時間</p> <p>「あそび」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームなど ・サッカー ・ダ・カウ ・おしゃべり <p>「食べもの」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売店や屋台で食べられる。 ・お金を持ってきてOK! <p>例)月曜日の時間割</p> <table border="1"> <tr><td>7:30~</td><td>1. 国旗掲揚式</td></tr> <tr><td>8:10~</td><td>2. 道徳</td></tr> <tr><td>8:45~</td><td>休み時間</td></tr> <tr><td>9:25~</td><td>3. 4. 5. 数学など</td></tr> <tr><td>11:20~</td><td>給食と屋休み</td></tr> <tr><td>13:15~</td><td>★屋寝★ひるね</td></tr> <tr><td>13:55~</td><td>6. 7. 園芸など</td></tr> <tr><td>15:10~</td><td>休み時間</td></tr> <tr><td>15:50~</td><td>8. 自習</td></tr> </table> <p>調べた本や資料 ※本の著者や書名、ホームページのタイトル、相談した人や図書館名など</p> <p>『ベトナム ショグラフィック 世界の国 ベトナム』 ジェン・グリーン 著</p> <p>『ベトナムの小学生』 特別監修製本図書</p> <p>調べ学習の感想 ※調べてどんなことに気づいたか、苦労したことなどを書くこと</p> <p>学校で屋寝があることにびっくりしました。机の上で寝て、きょろの寝たかと思いましたが、他にも休み時間に食べた方がいいなどの日本と違うことを、現地に行ったら実直に見てみたいですね。</p>	7:30~	1. 国旗掲揚式	8:10~	2. 道徳	8:45~	休み時間	9:25~	3. 4. 5. 数学など	11:20~	給食と屋休み	13:15~	★屋寝★ひるね	13:55~	6. 7. 園芸など	15:10~	休み時間	15:50~	8. 自習
7:30~	1. 国旗掲揚式																		
8:10~	2. 道徳																		
8:45~	休み時間																		
9:25~	3. 4. 5. 数学など																		
11:20~	給食と屋休み																		
13:15~	★屋寝★ひるね																		
13:55~	6. 7. 園芸など																		
15:10~	休み時間																		
15:50~	8. 自習																		

新しい取り組みへの反応

ブリッジ チャレンジトリップ2019夏アンケート結果より

		団 員	保 護 者
占部先生の講話はいかがでしたか？	全体研修	4.3	4.2
	宿泊研修	4.1	
	結団式	4.4	
	報告会	4.0	
課題はいかがでしたか？		3.9	4.4

※5段階評価／平均値

団員の声

現地の情報を事前にインターネットで言聞べて現地に行きました。インターネットなどでは「治安が良くない」などたくさん書いてあったけれど、実際に行って、みると、みなさん温かくもかえてくださいました。インターネットなどの情報にたよらず、実際に現地に行って、たくさんの体験をしてほしいです。

(パプアニューギニア団・団員)

チャレンジトリップに参加したことで、私の外国への考えが変わりました。前は、「外国はなんか怖い。」「外国には行きたくない」という気持ちがありました。このチャレンジトリップに参加して、私は、外国は、日本には無い魅力がたくさんあることを知り、「また行きたい!」と思うようになりました。ぜひチャレンジトリップに参加して下さい!! (香港団・団員)

保護者の声

現地でのホームステイ体験だけでなく、前後の活動が子どもの成長に役立ちました。課題を持って調べ学習をすることや帰国後にもふりかえりをするので、今後の学びにつながって行くと思います。

(ホーチミン団・保護者)

派遣元・派遣先ともに事前準備が整ったプログラムは、個人だけでは実現できないと思いました。時間をかけて準備をされていて、素晴らしいプログラムだと思いました。

(パプアニューギニア団・保護者)

こども達への影響

チャレンジトリップに参加して感じたことを教えてください。
(ブリッジチャレンジトリップ2019夏アンケート結果より)

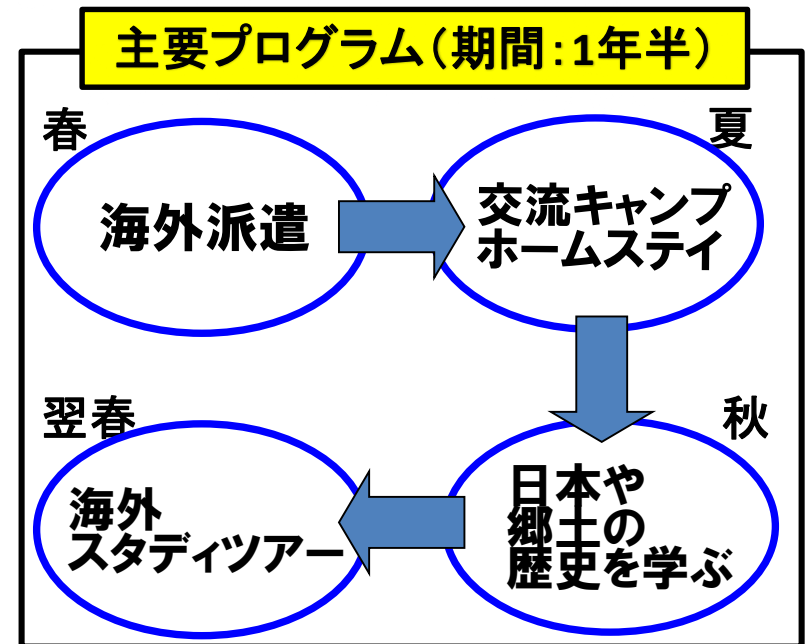
	小学生	中学生	高校生	総数
海外に興味を持った	16	22	8	46
英語や外国語を勉強したくなった	10	16	7	33
チャレンジしたいことが増えた	11	15	4	30
自信がついた	9	9	6	24
自分の意見を言えるようになった	4	7	2	13
人見知りしなくなった	2	5	2	9
自分でできることが増えた	8	7	1	16
将来の夢ができた	3	8	1	12
その他	0	2	1	3

※回答者54名／複数回答可

日本のこども大使育成事業 ウイングキッズプログラム記念事業

日本人として自分を語ることができ、国際社会で活躍できる
若者となるよう、日本のこども大使を育成するプログラム

- ・ 対象は小学4・5年生（入塾時）
- ・ 1年半の育成プログラム
→日本や福岡の歴史や文化を学ぶ
とともに、APCCが提供している
すべての国際交流事業に参加する
- ・ 10年間で265名のこどもが受講



10期生を持って事業終了。
今後はウイングキッズプログラムのノウハウや実績をAPCCの他事業で活かしていく。

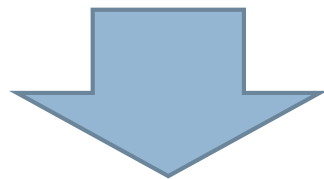
2019年8月31日 記念事業の様子

- ・ウイングキッズ1～10期生、保護者、講師、ボランティア、その他関係者等、**約170名**が参加
- ・1部にて記念行事(占部賢志塾長の講話、修了生代表挨拶等)、2部にて交流会を実施



今後の事業の展開

- ① 事前の研修や講座、事後の報告に力を入れる
- ② 広報の拡充
- ③ 招聘型事業への参加にも繋げる



国際感覚豊かな福岡の青少年の育成が加速化
福岡がアジアや世界と繋がる更に魅力的な街に

We are the BRIDGE

We connect dreams around the world

未来を担う子ども達のために・・・
どうぞよろしく願いいたします

～ご清聴ありがとうございました～

APCC

Asian-Pacific Children's Convention in FUKUOKA